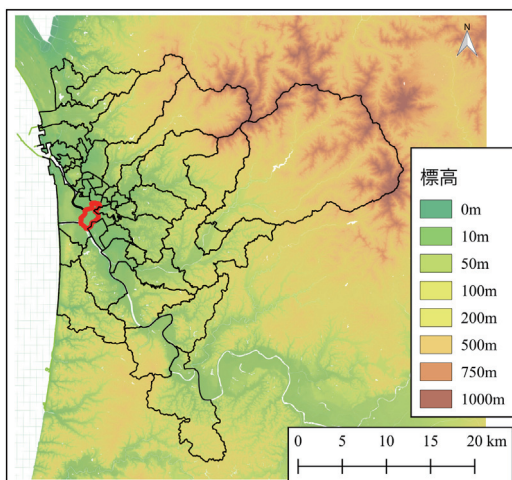


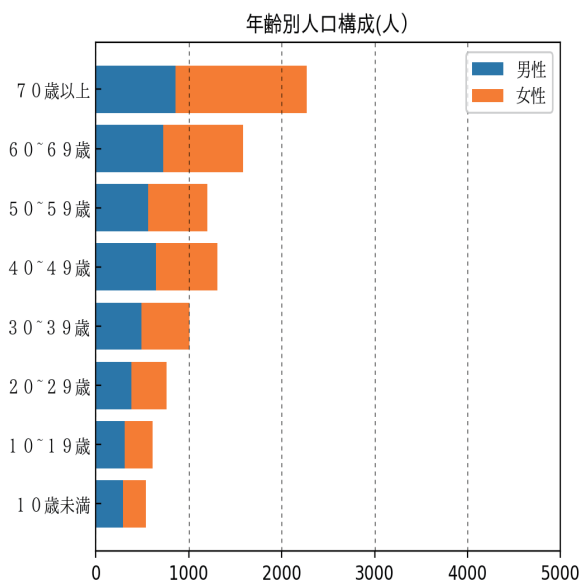
28：旭南小学校

位置図



1 居住者の現況

人口	9,516 人
世帯数	4,630 世帯
65 歳以上人口	3,152 人
10 歳未満人口	535 人



平成 28 年 10 月 1 日現在

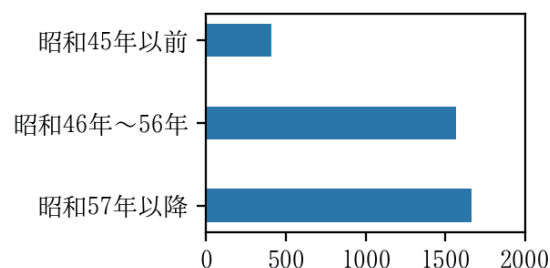
2 建物に関する指標

■ 構造別建物棟数(棟)

	棟
木造建物	3639
非木造建物	649

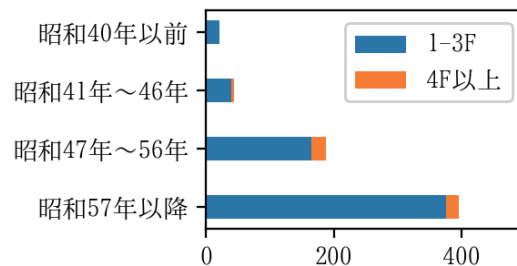
■ 建築年代別木造建物棟数(棟)

	棟
昭和57年以降	1,663
昭和46年～56年	1,568
昭和45年以前	408



■ 建築年代別非木造建物棟数(棟)

	1-3F	4F以上
昭和57年以降	377	20
昭和47年～56年	165	23
昭和41年～46年	40	3
昭和40年以前	21	0



平成 22 年 8 月現在

自然的・社会的基本指標

旭南小学校区は、西を旧雄物川（秋田運河）、南を雄物川、北を旭川、大平川に囲まれた地域であり、地形は平坦で地盤は沖積層が分布している。学校区の西部は主に工業用地となっており、工場が多いのが特徴となっている。1983年日本海中部地震の際には、学校区内で液状化が発生している。人口構成では、65歳以上の高齢者層の割合が33%と秋田市の平均よりもやや高くなっている。昭和57年以降の建物は全体の63%である。

3 自然災害に関する指標 (平成 29 年 3 月現在)

■ 洪水

指定河川	旭川	猿田川	雄物川
浸水面積 (%)	51.0	3.0	76.8
最大浸水深 (m)	ランク 5	—	ランク 4

■ 土砂災害

* 土砂災害危険箇所

種別	箇所数	主な指定箇所
急傾斜地崩壊危険箇所	0	該当箇所なし
土石流危険渓流	0	該当箇所なし
地すべり危険箇所	0	該当箇所なし
なだれ危険箇所	0	該当箇所なし

* 土砂災害警戒区域

種別	箇所数	主な指定箇所
土砂災害警戒区域	0	該当箇所なし
うち土砂災害特別警戒区域をふくむもの		

■ 地震および津波

* 地震 (どこにでも起こりうる直下の地震: M6.9)

平均震度 (計測震度)	震度 6 弱 (5.95)	
震度 6 強以上となる面積 (%)	22	
液状化危険度ランク	4	
建物全壊率 (%)	4.2	

* 津波 (秋田県沖の地震で A,B,C 領域が連動した場合)

浸水面積 (%)	27.5	
最大浸水深 (m)	6.7	

4 災害時要配慮者に関する指標 (平成 29 年 3 月現在)

■ 要支援者関連施設 (収容施設のみ)

種別	施設数
高齢者支援	15
婦人幼児支援	1
障がい者等支援	3

■ 幼稚園・保育所等

種別	施設数
保育所等	1
こども園	1
幼稚園	0

■ 学童支援施設

種別	施設数
児童館等	1

■ 学校等

種別	施設数
小学校	1
中学校	0
高等学校	0
大学・短大・高専	0
養護学校等	0

5 防火・防災施設に関する指標 (平成 29 年 3 月現在)

■ 消防関連施設

消火栓数 (箇所)	114
防火水槽 (箇所)	8
消防車台数 (台)	11
消防ポンプ数 (台)	1
消防団員数 (人)	16

■ 避難所/避難場所 (別表参照)

災害種別	施設数
洪水	0
土砂災害	6
地震	6
津波	2
福祉避難所	2
津波避難ビル	2
津波警報サイレン	0

■ 救急・防災関連施設

種別	名称/箇所数
管轄消防署	秋田消防署
管轄警察署	秋田中央警察署
病院・医院数 (歯科を除く)	2
最寄りの救急告示病院	中通総合病院
自主防災組織数	18

自然災害の危険要素

本学区は、全般に河川の氾濫による浸水に対し脆弱であると想定されている。想定によれば、猿田川沿いに沿って氾濫の可能性があるとともに、旭川により秋田運河東岸で 5m 以上の高さまでの浸水で、かつ学区内の約 51% の範囲に浸水域が及ぶ。雄物川の氾濫によっては、学区内の約 77% の区域が浸水し、所によっては 10m 未満の浸水となる。

土砂災害の危険性は無い。

地震動の揺れやすさは、ほぼ全域で一様であるが、秋田運河と酒田街道に挟まれた区域ではやや揺れが強まる可能性がある。液状化の可能性は高い。津波により学区の南部を中心に約 30% の範囲で最大 6m を超える浸水となる可能性が想定されている。

防災上の課題と対策

旭南小学校区は、雄物川と旧雄物川の分岐点付近にあり、その他、旭川、太平川、猿田川などの河川が集中することから水害の危険度が高いと想定されている。平坦な低地が多いことから、内水氾濫などの危険性にも配慮すべきである。

沖積層が分布することにより 1983 年日本海中部地震では液状化が発生しており、将来の大地震時にも液状化災害が懸念される。学区内は、やや軟弱な地盤条件と旧耐震建物が多いため、地震時の建物被害が懸念される。

旧雄物川沿いは工業用地となっており、就業者や訪問者な

ど非居住者が多数滞留することも考えられ、非居住者の避難、帰宅方法などについても地域を含めた検討がされることが望ましい。

学校区内では指定避難所および緊急時一時避難場所として、あわせて16箇所の避難施設（津波避難ビルを含む）が指定されているが、洪水災害時に利用可能とされている施設はない。学校区内の町内会や事業所においても、自主的な

活動として、避難の方法を検討し、避難訓練等を通して実効性を確認するなどの対策が当面重要となる。

■ 避難所・避難場所

施設	指定避難所	緊急避難場所					収容人員
		災害の種類（○のみ利用可）					
		洪水	がけ崩れ/ 土石流	地震	津波	大規模火災	
旭南小学校グラウンド	x	x	○	○	x	x	4,590人
旭南小学校（体育館）	○	x	○	○	x	x	409人
茨島多目的運動広場	x	x	○	○	x	x	2,000人
旭南地区 コミュニティセンター	○	x	○	○	x	x	59人
茨島地区 コミュニティセンター	○	x	○	○	x	x	87人
茨島体育館	○	x	○	○	x	x	425人
株式会社さわやか倶楽部 介護付有料老人ホームさわ やか桜式番館（3階から4 階までの通路と食堂）	x	x	x	x	○	x	600人
天然温泉グランスパホテル こまち立体駐車場（3階、 屋上）	x	x	x	x	○	x	1,150人

福祉避難所

施設	所在地	電話番号
秋田市旭南老人デイサービスセンター	旭南一丁目8-12	018-823-8119
秋田聖徳会障がい福祉サポートセンター聖和	川元小川町1-8	018-874-8415

津波避難ビル

施設	所在地	利用可能範囲	収容人員
株式会社さわやか倶楽部 介護付有料老人ホーム さわやか桜式番館	卸町一丁目10番3号	・3階および4階の通路、食堂	600人
天然温泉グランスパ ホテルこまち 立体駐車場	卸町一丁目2番3号	・3階および屋上	1,150人

津波警報サイレン

施設	所在地
(該当なし)	

